

“最後”の名人選定表彰

「森・川・海の名人」が、自然との向き合い方・生き方を伝えます

第17回 聞き書き甲子園フォーラム 開催

「聞き書き甲子園」実行委員会（農林水産省、文部科学省、環境省等で構成）は、同甲子園の成果を発表する「第17回聞き書き甲子園フォーラム」を3月16日（土）に都内で開催します。「聞き書き甲子園」は、全国100名の高校生が「森・川・海の名人」を訪ね、自然と共に生きる知恵や技術、価値観を一对一で聞き書きし、記録するプロジェクトです。

フォーラムでは、3組の代表名人と高校生が、トークイベントを行います。今回ご登壇いただく、「福井県のおうれん栽培」・「群馬県の木工玩具製造」・「長崎県の一本釣り漁」3名の代表名人は、いずれも森・川・海の伝統的な知恵や技術を今に伝える古老です。

聞き手は、長年「聞き書き甲子園」を応援いただいている **阿川 佐和子さん（文筆家）** と、聞き書き甲子園講師・発案者の **塩野 米松さん（作家）** の2名で行います。



◆加藤好昭名人：おうれん栽培
（福井県大野市）



◆大野修志名人：木工玩具製造
（群馬県多野郡上野村）



◆江川重明名人：一本釣り漁
（長崎県平戸市）

なお、森・海・川の名人を全国から募り、表彰する「**名人選定表彰制度**」は今年度で**最後**となります。これまでに**1,500人以上**の名人を選定・表彰してきました。次年度以降の聞き書き甲子園は、より「地域」にスポットを当てる観点から、全国の市町村（地域）に、名人の推薦にご協力いただき、継続します。（※別紙1 参照）

【概要】

- ◆日時：2019年3月16日（土） 開場 13:00 開会 13:20 閉会 16:15
 - ◆会場：木材会館7階・檜ホール（「新木場」駅から徒歩約3分／駅前ロータリー正面）
 - ◆定員：150名（無料）事前予約制（席に余裕がある場合、当日受付可）
 - ◆主なプログラム：
 - ・「森・川・海の名人」と高校生のトークイベント
 - ・トークセッション「聞き書き甲子園 それぞれの未来」
 - ◆お問い合わせ・お申し込み：聞き書き甲子園実行委員会事務局（NPO 法人共存の森ネットワーク内）
TEL: 03-6432-6580 FAX: 03-6432-6590 E-mail: info@foxfire-japan.com
- ※当日、取材を希望する場合には、事前にご一報ください。

(1) 名人選定表彰制度について

公益社団法人国土緑化推進機構では、平成14年度より「もりのくに・にっぽん運動」の一環として、「森の名手・名人」として選定してきました。(森の名手・名人とは：自然を守り育て、その恵みを暮らしに活かすための優れた知恵や技を受け継ぎ、他の模範となっている人)

また、平成22年度には、全国漁港漁場協会ならびに全国内水面漁業協同組合による「海・川の名人」選定表彰制度も始まりました。森・川・海の名人となった方々には、聞き書き甲子園による高校生の聞き書き取材へ協力していただいています。

これまでに「1500人以上」の森・海・川の名人を選定・表彰してまいりましたが、今年度で「名人選定表彰制度」は、終了となります。

次年度以降は、「名人」の技や伝統・文化の基盤である「地域」にスポットを当てる観点から、本取組に御協力いただく市町村(地域)を、聞き書き実施の前年度に公募し、市町村(地域)単位で推薦いただく複数の「名人」を高校生が一对一で訪問し、「聞き書き」する方法により実施します。

(2) 登壇名人のプロフィール詳細



◆加藤好昭名人：おうれん栽培 (福井県大野市)

日本最後のおうれん産地である、大野市出身。70歳。最大生産量である年間約200kgのおうれんを出荷する。栽培技術を「林業遺産」へ申請する(平成27年認定)など、普及活動にも積極的。
※おうれん＝漢方薬の原料のひとつ。



◆大野修志名人：木工玩具製造 (群馬県多野郡上野村)

北海道出身の58歳。上野村の木材を活用した木工玩具製造「木まま工房」を経営。動物をモチーフにした子供用のいす「アニマルチェア」など、丈夫で質がよいおもちゃを提供。



◆江川重明名人：一本釣り漁 (長崎県平戸市)

平戸市出身の88歳。20歳の時に地元へUターンし、一本釣り漁を始める。複雑な海底地形と潮流、天候などを見極め、5種類の釣り漁法を瞬時に判断する名人。

※なお、本年度は「森の名手・名人」73名、「海・川の名人」6名が新たに選定表彰されました。高校生は、過去に選定された名人を含む100名の名人に、聞き書きを実施しました。